



数学オリンピックに みる才能教育

【趣旨】

1959年に第1回ルーマニア大会が開催された国際数学オリンピックに日本は1990年の第31回中国大会から毎年参加し、2003年には第44回日本大会が東京で開催されました。数学オリンピックは、数学の才能のある若者を発見し、その才能を伸ばす手助けをすることを目的としています。本講演会では、この数学オリンピックの歴史と現状を通して、才能教育のあり方について考えます。

【講演】

「世界の数学オリンピック」

鈴木 晋一 氏（早稲田大学名誉教授／数学オリンピック財団専務理事）

「数学オリンピック、春の合宿と夏季セミナー」

小林 一章 氏（東京女子大学名誉教授／数学オリンピック財団理事長）

「数学オリンピックでの経験とその後」

岩瀬 英治 氏（早稲田大学専任講師／数学オリンピック財団評議員）

「数学教育におけるコンペティションの功罪」

石垣 春夫 氏（早稲田大学名誉教授／数学オリンピック財団元評議員）

【質疑】

司会 谷山 公規 氏（教育総合研究所幹事／教育・総合科学学術院教授）



早稲田大学
教育総合研究所

日時

2013年7月13日(土)

13:30開場 14:00～17:00

場所

14号館102教室

※入場無料、事前申込不要

主催 教育総合研究所

共催 教育学部
大学院教育学研究科
大学院教職研究科

お問い合わせ

早稲田大学教育総合研究所 03-5286-3838 IASE@list.waseda.jp